



与路小・中学校 学校だより

瀬戸内町立与路小・中学校 学校だより「与路っ子」令和5年度1月号

与路っ子 1

「辰(龍)の如く・・・」

校長 川井 功作

あけましておめでとうございます。今年も本校教育活動へご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

新しい年がスタートしましたが、新年早々能登半島大地震、翌日には日航機の衝突事故の映像が流れ、目を疑いたくなるような災害、事故が発生しました。日本は約10年前後を周期に大きな災害が発生しているように感じます。被災し亡くなられた皆様のご冥福を心からお祈りするとともに、被災地の一日も早い復旧・復興が実現されることを心からお祈り申し上げます。

さて、今年の干支は辰(龍)です。この龍だけが架空の動物になります。他の干支は実在する動物なのになぜ龍だけが架空の動物なのでしょう。これについては、はっきりとした理由はわかりません。「本来干支の各文字に動物は関係なかったのに、あとから同音の動物を紐づけたせいで架空の動物が入ってしまった」という説や、「龍という文字に鱶(ワニ)の意味もあったので、そもそも龍ではなくワニを指していた」という説があります。龍は古来より中国で権力の象徴とされ、縁起の良い生き物とされています。干支を広く浸透させるために、龍を選んだのかもしれませんが。

過去、辰年には次のようなことがありました。

2012年、京都大学の山中伸弥氏は成熟した細胞を多能性幹細胞(IPS細胞)へと初期化できることを発見し再生医療の分野に革命をもたらす画期的な成果としてノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

2000年、シドニー五輪が開催され女子としては史上初の金メダルを獲得した女子マラソンの高橋尚子さんや日本女子柔道史上初の金メダルを獲得した田村亮子さんの活躍がありました。

1988年、世界最長の全長53.85kmの青函トンネルが開通しました。開通まで1400万人を超える作業員が携わり、工事期間は約24年間にも及びました。これは、土木史上空前のスケールを誇る仕事になりました。このように辰年には、努力した成果が実を結ぶような出来事が多く起こっています。これは、辰年の「成功した芽が成長し、姿を整えていく」という傾向の表れかもしれません。辰年にあたり本校でも「龍の如く猛々しく、新しいことに挑戦する年」にしたいものです。

迎春準備



12月21日(木)、郷土学習の一環として地域の皆様と一緒に門松作りと餅つきをしました。

地域の皆様と一緒に令和5年を締めくくる行事になりました。御協力ありがとうございます。

大谷選手からのグローブ

アメリカで活躍する野球選手の大谷翔平選手が全国の小学校にグローブを寄付しました。1月上旬に本校にも届き、全校朝会で紹介しました。

本校、子供たちの多くはサッカー派だったので、昼休みは届いたグローブを使ってさっそくキャッチボールをしていました。



書き初め大会

1月13日(土)、土曜授業にて書き初め大会を行いました。陸太さんは「友だち」、駿さんは「成長する」、美優さんは「勇氣凜凜」、「李央さんは「万里一空」と今年への思いを字として表しました。

今年は参観して下さった地域の方も一緒に書き初めをする場面もあり、よい交流の時間にもなりました。書き上げた作品の一部は、与路郵便局にも展示される予定です。



ドリームスピーチ

1月9日(土)、書き初め大会終了後、今年目標や将来の夢を発表するドリームスピーチを行いました。

書き初めで書いた字を掲げながら、それぞれが今年の思いを発表し、意気込みを新たにしました。



おもな2月の行事

- 6 (火) 町教育長訪問
- 13 (火) 心の教育講演会(講師：向野忍 様)
- 14 (水) 中学校学年末テスト(～15日)
- 16 (金) お別れ遠足
- 20 (火) 学校評議員会
- 29 (木) 授業参観・学級PTA